

# 未来を創造するリーダー育成推進プロジェクト

## 平成26年度実施報告書

埼玉県立川越高等学校

### 1 学校の現状と課題（平成26年度当初における生徒の実態を踏まえて）

#### ア 現状

生徒は、質の高い授業と学校行事・部活動等の特別活動を両立させ、積極的に取り組んでいる。また、伝統ある校風を継承し、切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っている。また、高い目標を立て自己実現に向かい意欲的に取り組んでいる。

#### イ 課題

- ・分掌、学年、教科等の各組織が連動しながら教科指導力の向上や授業の一層の充実を図っていくこと。
- ・第一志望を貫く意欲と学力をさらに向上させる。
- ・積極的な情報発信と安心安全な学校づくりを一層進める。

### 2 本校における26年度までの取組、及びその成果と課題についての概要

#### ア 取組

「グローバル化が進む社会の中でリーダーとなる進取の気性に富んだ良識ある人材」の育成を目標に指導にあたってきた。そのため、講演会や卒業生を活用した各種事業などにより、生徒一人一人の志を育成するとともに授業や自主ゼミ等を通じて学力の向上を図り、より高い志に基づく第一志望大学への現役合格率の向上を目指した進路指導を展開してきた。

#### イ 成果

- ・大学合格の実績が向上傾向にある。

#### ウ 課題

- ・自らの力で進路を切り拓くことのできる「自立した学習者」を育成する組織的かつ系統的な取組の実践
- ・各教科におけるより質の高い授業実践と指導内容や指導方法の一層の工夫と改善
- ・家庭学習時間の増加

### 3 本年度の実践

#### (1) リーダー育成、学力向上に向け、外部人材を活用した講義・講演等の実践について

##### ア 講義・講演等のねらい

様々な学部・学科に在籍する卒業生を迎えて、それぞれの学部・学科で何を学び、研究できるのか、さらには、卒業後の進路（大学院・就職状況）などを聞き、進路学習の一助とする。

##### イ 講義・講演等の概要

- ・行事 第1学年「学部・学科懇談会」
- ・日時 平成27年3月17日（火）、9：00～12：00
- ・対象 1学年の生徒全員
- ・内容 生徒を希望する分科会（第1～第10分科会）に分け、各分科会に3名程度の講師（OB）を配置する。生徒は2つの分科会に参加し、講師が自分の学部学科についての概略と魅力を説明する。生徒は参加した分科会の講師全員と懇談する。

ウ 生徒の様子（アンケート結果等）

- ・高校の時にしていたことをしっかりと話を聞くことができて良かった。改めて今の時期の大切さを感じ、勉強していきたい。
- ・OBの話を聞き、大学に対するイメージが変わった。今後日々の授業や家庭学習にきちんと取り組みたい。
- ・各大学の長所や短所など、インターネットや本では知ることのできない情報を聞くことができ本当にためになった。将来の夢の不安が少し晴れた気がする。
- ・早くから毎日こつこつと努力を積み重ねていくことが大切だと分かった。

（2）県主催の事業に参加した生徒による報告会等学校全体への波及の取組についての実践

ア 東日本大震災被災地訪問

- ・日程 平成26年10月10日（金）～10月11日（土）
- ・目的 東日本大震災による被災地に赴き、ボランティア活動に参加し、復興の状況を知ることによって自らの社会貢献の在り方について考える機会とする。
- ・場所 宮城県女川町、石巻市
- ・参加 2名
- ・波及 参加した生徒の感想  
「今の東北を立て直すことができなければ将来の日本はないと考え、自ら考え行動に移せるようにしたい。」  
「本当に必要なことは、その地方について知り、その場所を好きになり、実際にそこに行くことである。被災地に貢献しなければならないという気持ちがさらに強まった。」

イ その他の参加事業

医療体験実習、キャリアセミナー、世界の哲学・芸術アカデミー、先端研究施設等の訪問等

（3）教員向け各種授業研究セミナーへの参加について

教員の授業力を一層向上させることをねらいとして、各種の授業研究セミナーへの参加を奨励した。31回のべ44名が参加し授業に生かした。夏期休業中に64講座が開講され（昨年比4講座増、一昨年比13講座増）のべ約1500名の生徒が参加した。その他、自主ゼミ（生徒の求めに応じて開講される）も常時多数開講されるなど、授業以外でも高い授業力が生かされた。

(4) 学校において3年間を見据えた組織的な進路指導体制を構築する取組について

生徒に3年間の学習計画を立てさせるとともに、3年後を見据えた学習指導を行うため、学習のロードマップを進路指導部が作成した。(別紙)

(5) その他

ア くすのき宿泊研修

- ・目的 入学後すぐに行われる研修やオリエンテーション等により、本校生としての自覚を確立し、今後の高校生活の土台を築く。また、進路オリエンテーションや学習指導を行うことで、進路実現に向けた学習方法や自学自習の姿勢を身に付けさせ、団体行動を通して集団としての規律を高め、生徒相互の理解を深めてよりよい人間関係を形成する。
- ・日時 平成26年4月20(日)～21日(月)
- ・対象 第1学年の生徒全員
- ・内容 OBの大学生が同行し、行ききのバスで高校時代のことや大学での生活等について話すとともに、研修先でも分科会に分かれ、OBが学部・学科の魅力について語る。そのほか、模擬授業などに取り組む。

イ 大学見学会

- ・目的 進路実現に向けた意識啓発を図る。
- ・日程 平成26年7月26日(土) 東京大学(生徒29名参加)
- ・対象 1～3年生希望者

ウ 大学合格者懇談会

- ・目的 大学受験合格者を迎え、懇談会形式で合格者と2年生が直接話をすることによって、これからの1年間で計画的な進路準備をするための一助とする。
- ・日時 平成27年3月17日(火)、9:00～12:00
- ・対象 第2学年の生徒全員
- ・内容 生徒を希望する分科会(第1～第10分科会)に分け、各分科会に3名程度の卒業生を配置する。生徒は2つの分科会に参加し、卒業生が「部活動と学習の両立」「授業の活用」「センター試験対策」「2次対策、私大対策」「スランプ脱出法」等自分の体験を話す。生徒は参加した分科会の卒業生全員と懇談する。